



株式会社ELEMENTS | 2025年7月

2025年11月期 2Q決算説明資料

ハイライト

財務ハイライト

- LIQUID eKYCの好調に加え、地方自治体向けのデジタルIDウォレットの売上貢献により、四半期売上は過去最高となる**974百万円**で着地（前年同期比+26%）。
- 四半期EBITDAは**148百万円**、営業利益は**31百万円**と黒字着地。ポラリファイ関連費用73百万円の影響⁽¹⁾を除いたEBITDAは**同+15百万円の221百万円**。（EBITDAマージン：22.7%）
- 他方、アドメディカに係る特別損失の発生で、親会社株主に帰属する当期純損益は**▲399百万円の赤字**で着地。

売上高
974百万円 （前年同期比:+26%）
<u>うち、個人認証ソリューションの売上高</u>
963百万円 （同+26%）

EBITDA ⁽²⁾	
148百万円 （前年同期比▲58百万円）	
<u>営業利益</u>	<u>親会社株主に帰属する当期純損益</u>
31百万円 （同▲99百万円）	▲399百万円 （同▲454百万円）

2025年11月期 通期業績予想

- **2025年11月期業績目標の修正・開示**
売上高は、**3,815百万円～4,000百万円**とレンジを引き上げ。（前回予想：EBITDAは**150～275百万円**、営業赤字は**▲350～▲225百万円**、親会社株主に帰属する当期純利益は、**▲850～▲725百万円**の赤字を見込む。

通期業績予想のアップデート

- 売上高については、足元の業績進捗を踏まえたレンジの上方修正を実施。
- EBITDAについては前期に引き続き黒字を確保も、ポラリファイの収益取込およびPMI費用の影響で営業利益は赤字を見込む。
- 好調な個人認証事業の事業環境等を踏まえた選択と集中の観点から、グループ全体でのリソースの再配分および株式会社アドメディカの位置づけを精査。
- 結果、当初見込んでいた将来収益の実現が困難と判断、同社に係るのれんおよび顧客関連資産の減損を実施したことで、親会社株主に帰属する当期純利益の赤字幅が拡大。（詳細後述）

	前回予想 (25年4月開示)	2025年11月期 通期修正予想	(参考) 2024年11月期 通期実績
売上高	3,730～3,900	3,815～4,000	2,545
(個人認証売上高)	3,681～3,851	3,770～3,955	2,509
売上総利益	-	2,975～3,125	2,183
販売費および 一般管理費	-	3,275～3,350	2,125
EBITDA ⁽¹⁾	黒字予想	150～275	343
営業利益	赤字予想	▲350～▲225	57
親会社株主に帰属する 当期純利益	赤字予想	▲850～▲725	▲132

(1) EBITDA=営業利益+減価償却費(有形・無形固定資産)+株式報酬費用+のれん償却額

目次

2025年11月期 2Q業績ハイライト

Appendix

2025年11月期 第2四半期業績 業績ハイライト（四半期）

売上高は、LIQUID eKYCの好調、および地方自治体向けのデジタルIDウォレットの納品を背景に、**前年同期比で+26%となる974百万円で着地。**

※ポラリファイの収益は第3四半期から取込開始

売上総利益率は地方自治体案件の影響で前年同期比で低下も、**77.0%を確保。**

販売費および一般管理費は**719百万円**、前年同期比で+32%の増加。但し、ポラリファイの関連費用の影響（73百万円）を除くと、**646百万円で前四半期対比概ね横ばい。**

上記の結果、**EBITDA148百万円、営業利益31百万円の黒字**にて着地。ポラリファイ関連費用を除いた数値は**EBITDA221百万円、営業利益103百万円を確保。**
アドメディカについて減損損失を計上した結果、**親会社株主に帰属する当期純利益は▲399百万円で着地。**

（百万円）

	FY24Q2 実績	FY25Q2 実績	前年同期比	
売上高	776	974	198	+26%
（個人認証売上高）	766	963	197	+26%
売上総利益	673	750	77	+11%
売上総利益率	86.7%	77.0%	▲9.7pt	-
販売費および 一般管理費	543	719	176	+32%
EBITDA ⁽¹⁾	206	148	▲58	-
営業損益	130	31	▲99	-
親会社株主に 帰属する 当期純損益	55	▲399	▲454	-

(1) EBITDA=営業利益+減価償却費(有形・無形固定資産)+株式報酬費用+のれん償却額

2025年11月期 第2四半期業績 業績ハイライト（累計）

売上高は、LIQUID eKYCの好調を主因とし、**前年同期比で+40%**となる1,690百万円と、ポラリファイの収益取込前においても高成長を確保。

売上総利益率は前頁記載の理由により、**前年同期比で▲5.6pt**となるも**81.9%の高水準**を確保。
販売費および一般管理費は**同+50%の1,367百万円**。

上記の結果、**EBITDA239百万円、営業利益17百万円の黒字**と、**ともに前期同様に黒字**にて着地。
前頁にも記載したアドメディカの減損損失の影響を主因に、**親会社株主に帰属する当期純利益は▲450百万円で着地**。

（百万円）

	FY24Q2 累計	FY25Q2 累計	前年同期比	
売上高	1,208	1,690	482	+40%
（個人認証売上高）	1,190	1,671	481	+29%
売上総利益	1,057	1,384	327	+31%
売上総利益率	87.5%	81.9%	▲5.6pt	
販売費および一般管理費	909	1,367	458	+50%
EBITDA ⁽¹⁾	234	239	5	+2%
営業損益	147	17	▲130	-
親会社株主に帰属する当期純損益	39	▲450	▲489	-

(1) EBITDA=営業利益+減価償却費（有形・無形固定資産）+株式報酬費用+のれん償却額

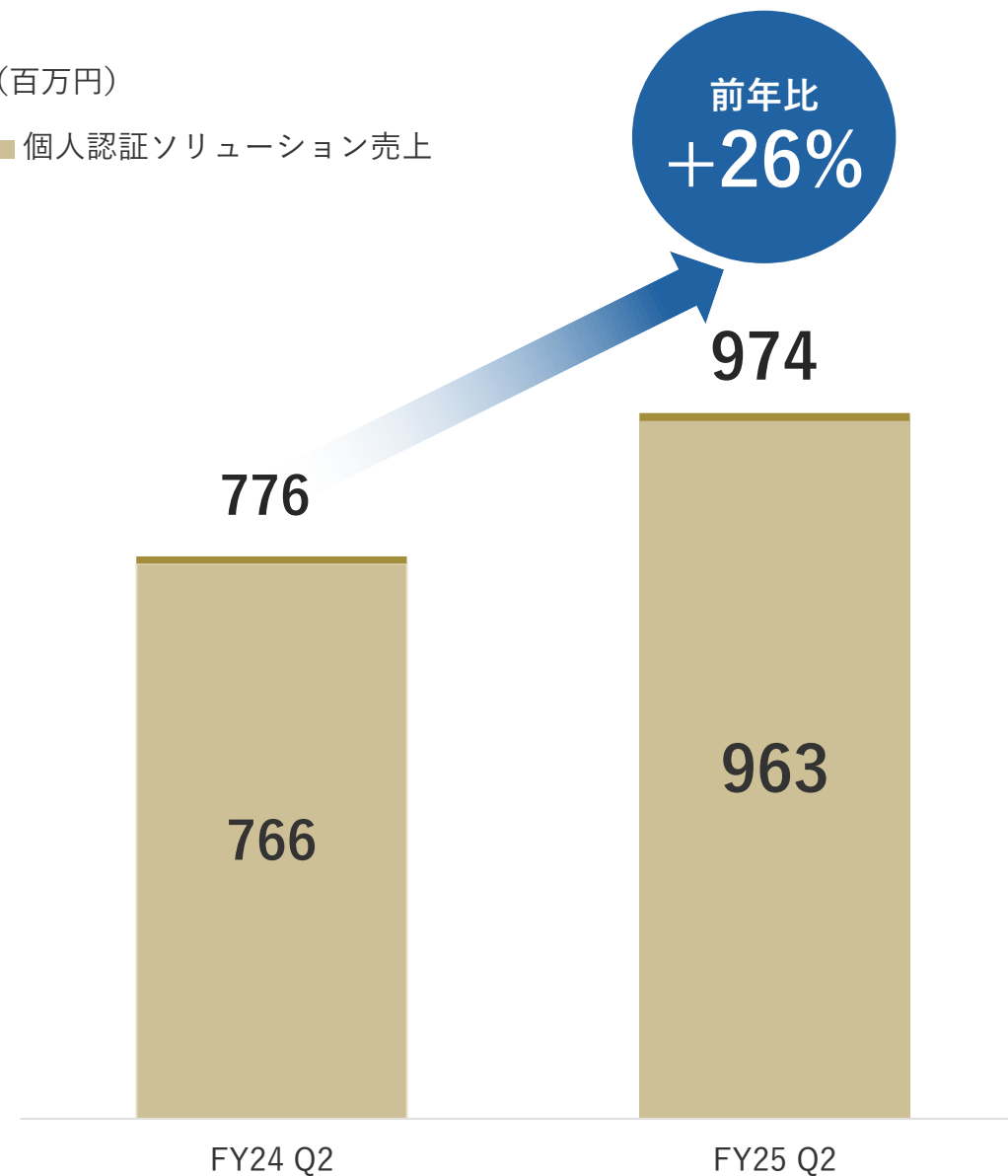
2025年11月期 第2四半期業績 売上について

LIQUID eKYCの好調、および地方自治体向けのデジタルIDウォレットの納品を背景に、**前年同期比で+26%となる974百万円で着地。**

※ポラリファイの収益は第3四半期から取込開始

(百万円)

■ 個人認証ソリューション売上

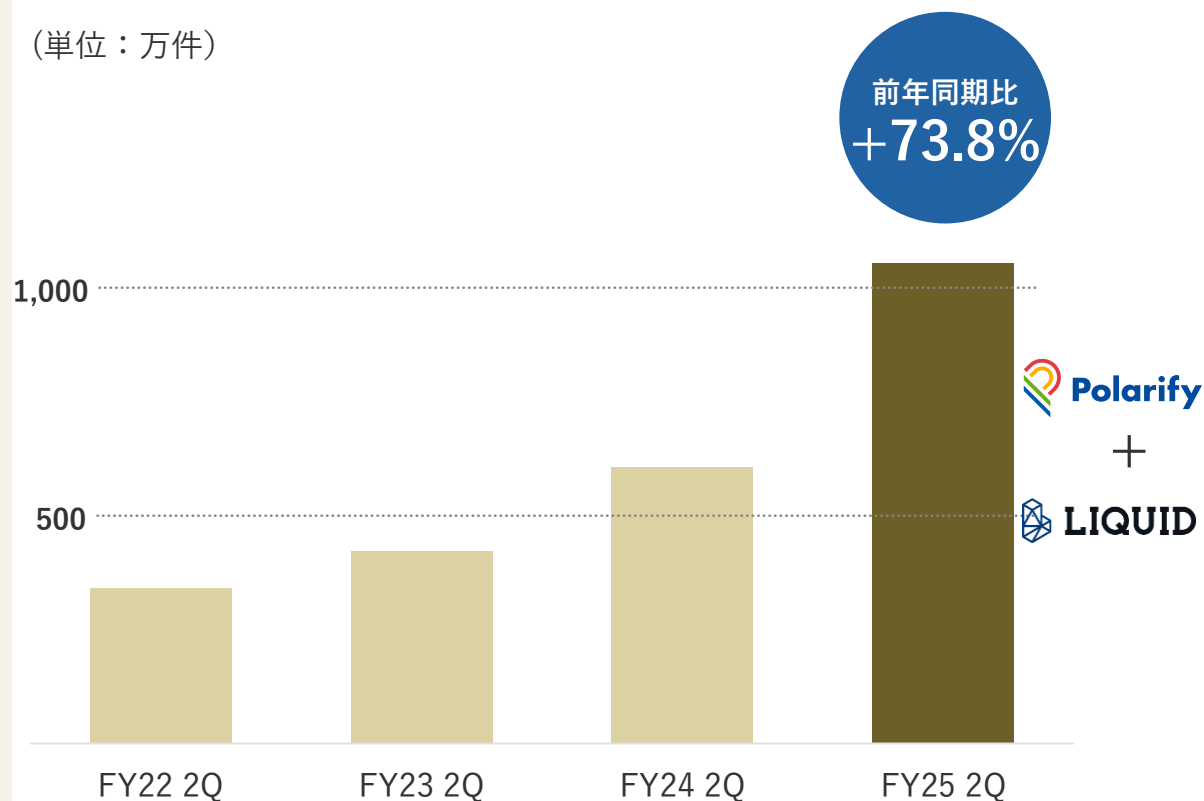


個人認証ソリューション主要トピック（1）四半期認証回数・累積契約者数推移

- 四半期ベースの認証回数は**Liquid、Polarifyの合算で1,000万回**を突破。
- 2025年5月末時点のグループ全体の累計契約者数は**前四半期比+24社の592社**まで拡大

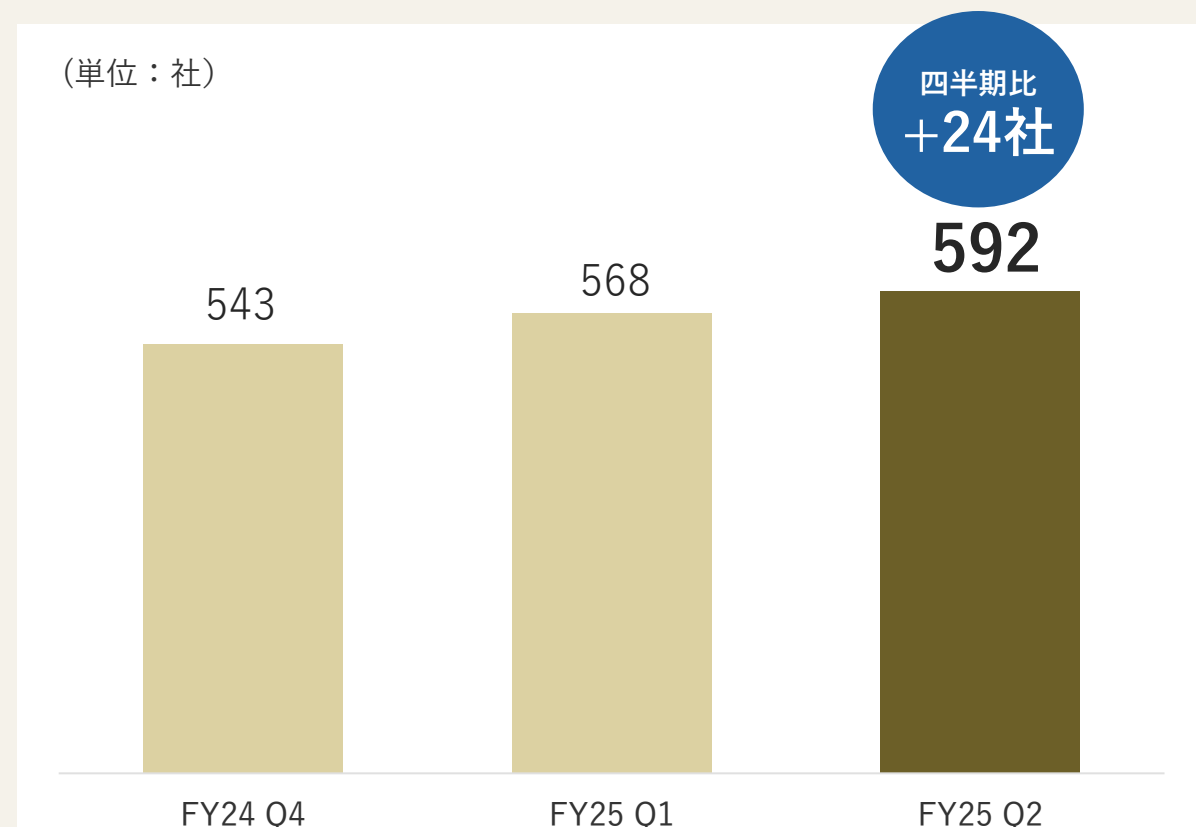
四半期認証回数

（単位：万件）



累計契約社数（合算）

（単位：社）



個人認証ソリューション主要トピック（2）当社グループ提供の高付加価値ソリューション

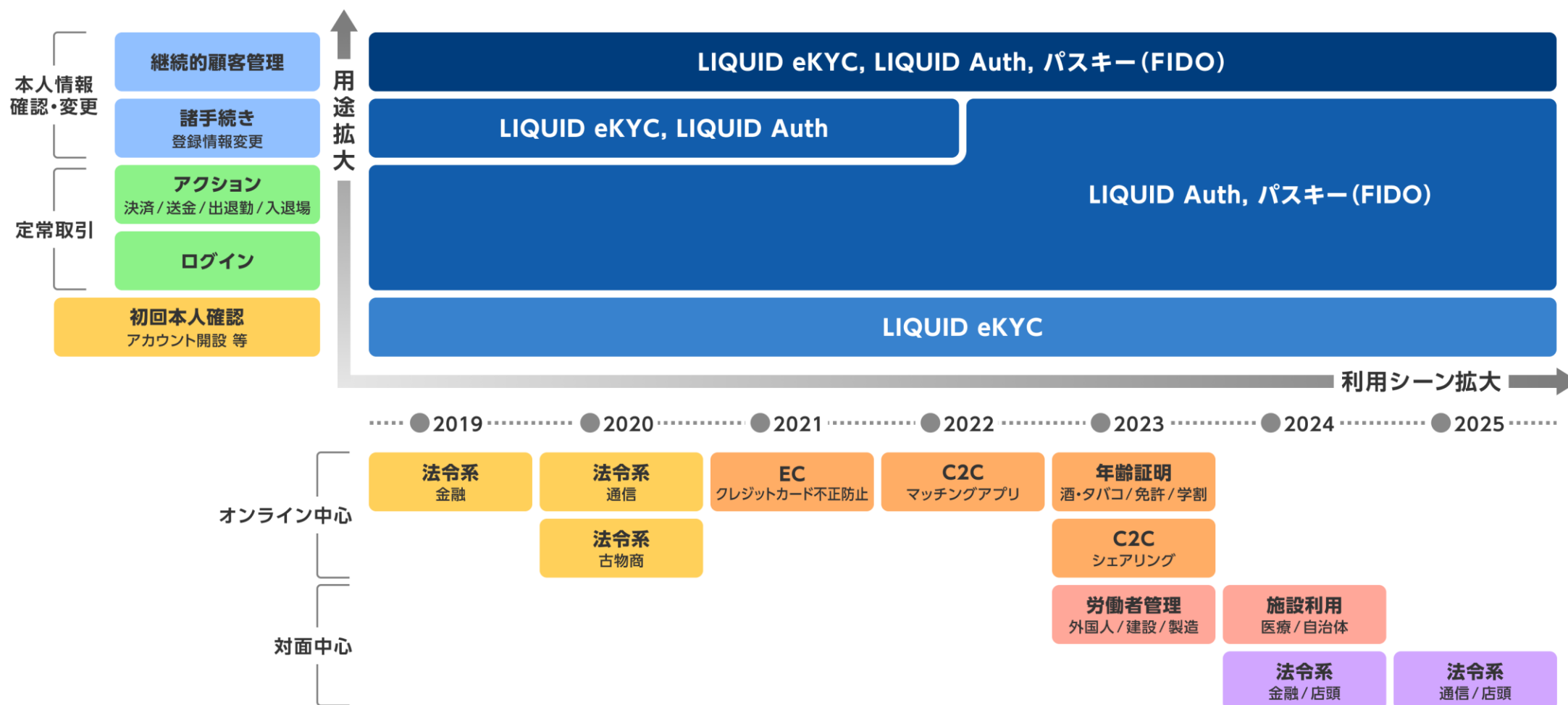
● 拡充した顧客基盤に対し、圧倒的な利便性担保と安全性向上の両立を実現するソリューションを提供していく。

- 本人(身元)確認のIC読取方式への移行に合わせた書類偽造耐性の強化と離脱率最小化の工夫
- IC読取方式であっても発生している不正を防止可能な、特許取得を含む独自性の高い解決策の提供
- ディープフェイクなどのデジタル不正に対する、生成AIを用いた判別策の提供



個人認証ソリューション主要トピック（3）利用シーンと個人認証ソリューションの拡大

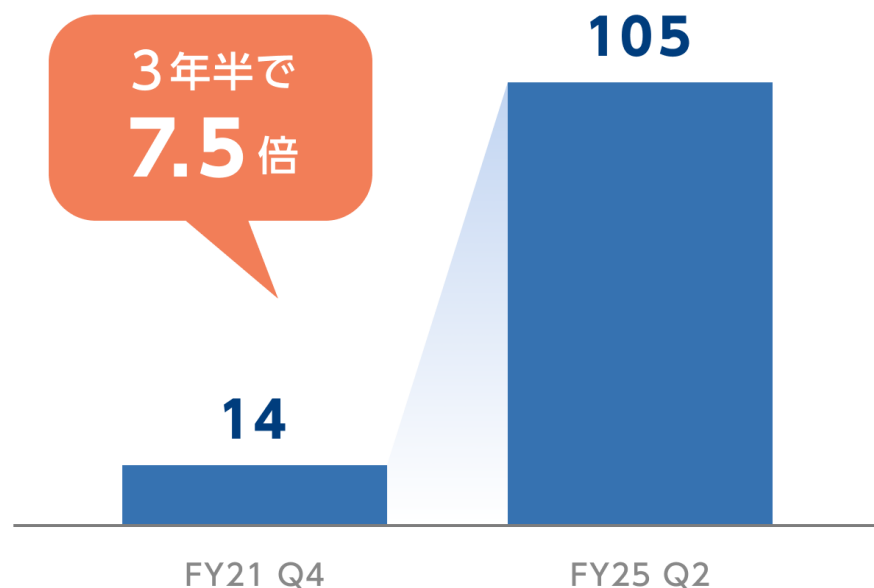
- サービス開始当初は「一般ユーザーのオンライン上の口座開設での本人確認」が中心だったが、住所変更等の諸届や、オフラインでの口座開設等、一般ユーザーの利用シーン拡大に加え、労働者管理等B2B領域での導入事例も増加傾向



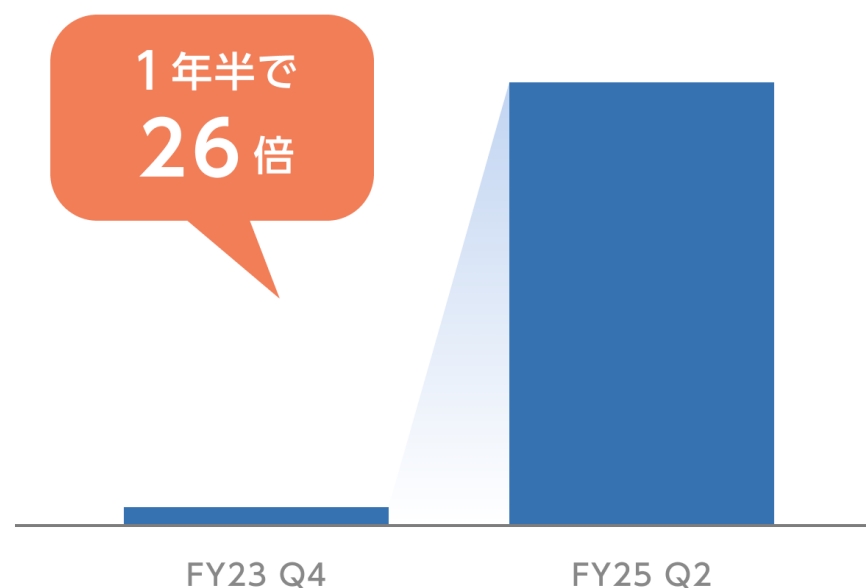
個人認証ソリューション主要トピック（4）利用シーンと高付加価値ソリューションの広がり

- 様々な生活シーンの身元確認でeKYCが活用されるようになっている状況。
- 非法令系事業者におけるeKYC導入数は**3年半で約7.5倍の100社超**に拡大している状況。

非法令事業者の LIQUID eKYC 導入数推移



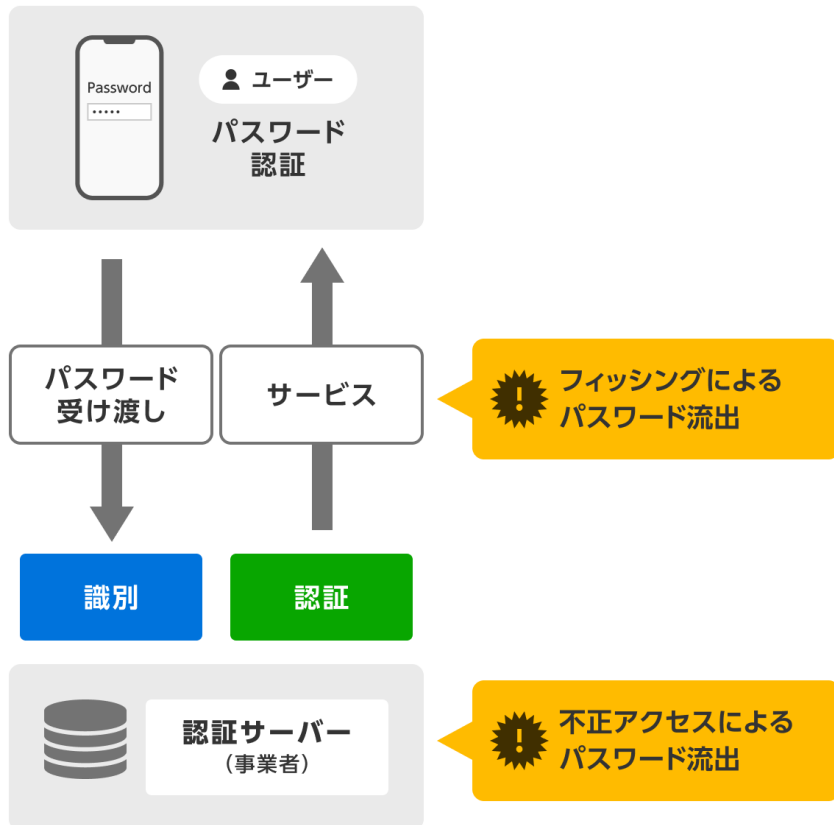
LIQUID Auth の認証回数推移



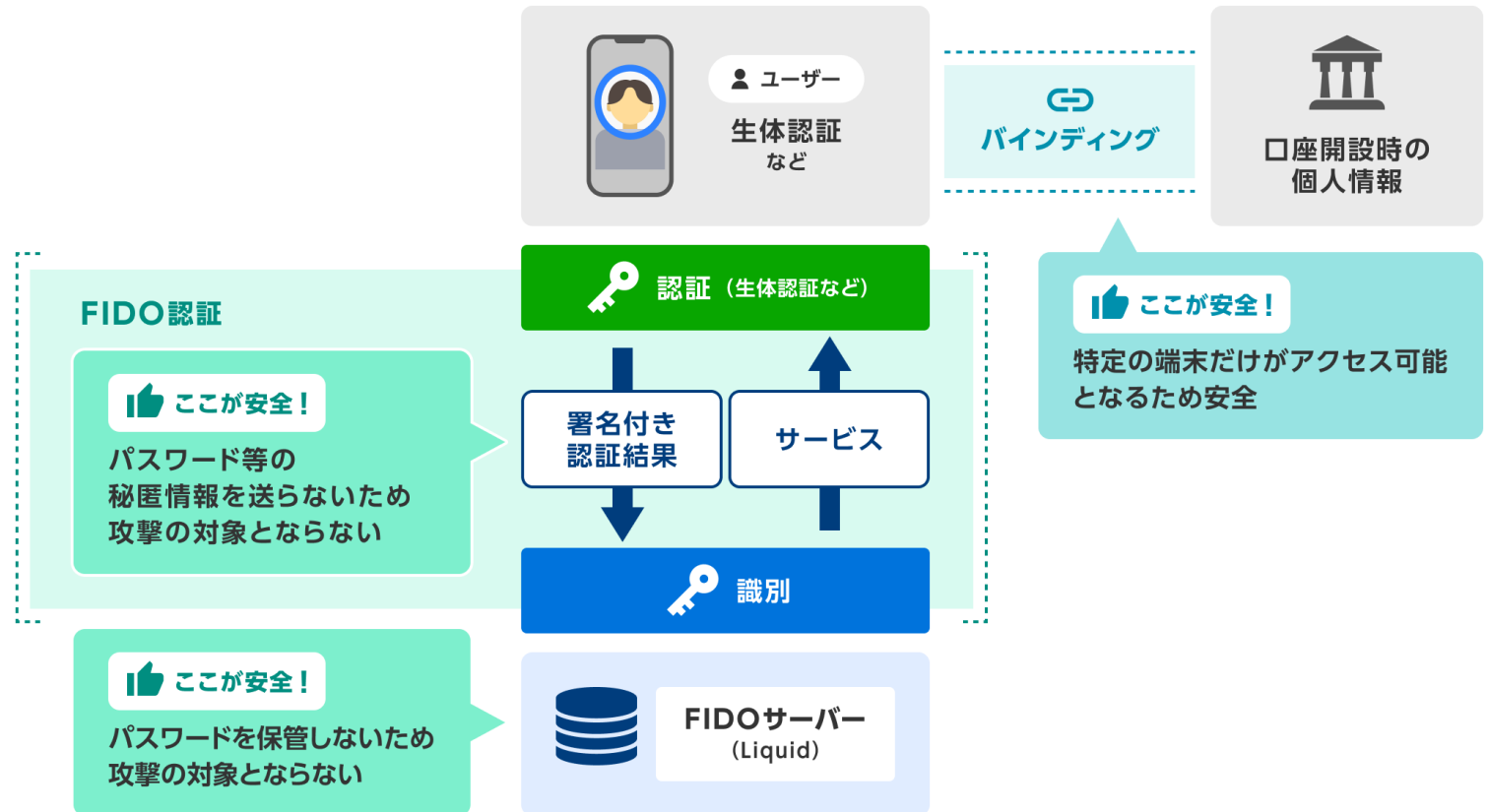
個人認証ソリューション主要トピック（5）多要素認証ソリューション

- 近年話題となっている大手証券会社を中心に発生している口座乗っ取り対策として、FIDO認証（パスキー）を用いた「多要素認証ソリューション」の提供を強化。
- 同技術は、LiquidとPolarifyが連携して提供。

現状の多要素認証



FIDO認証 + バインディングの場合

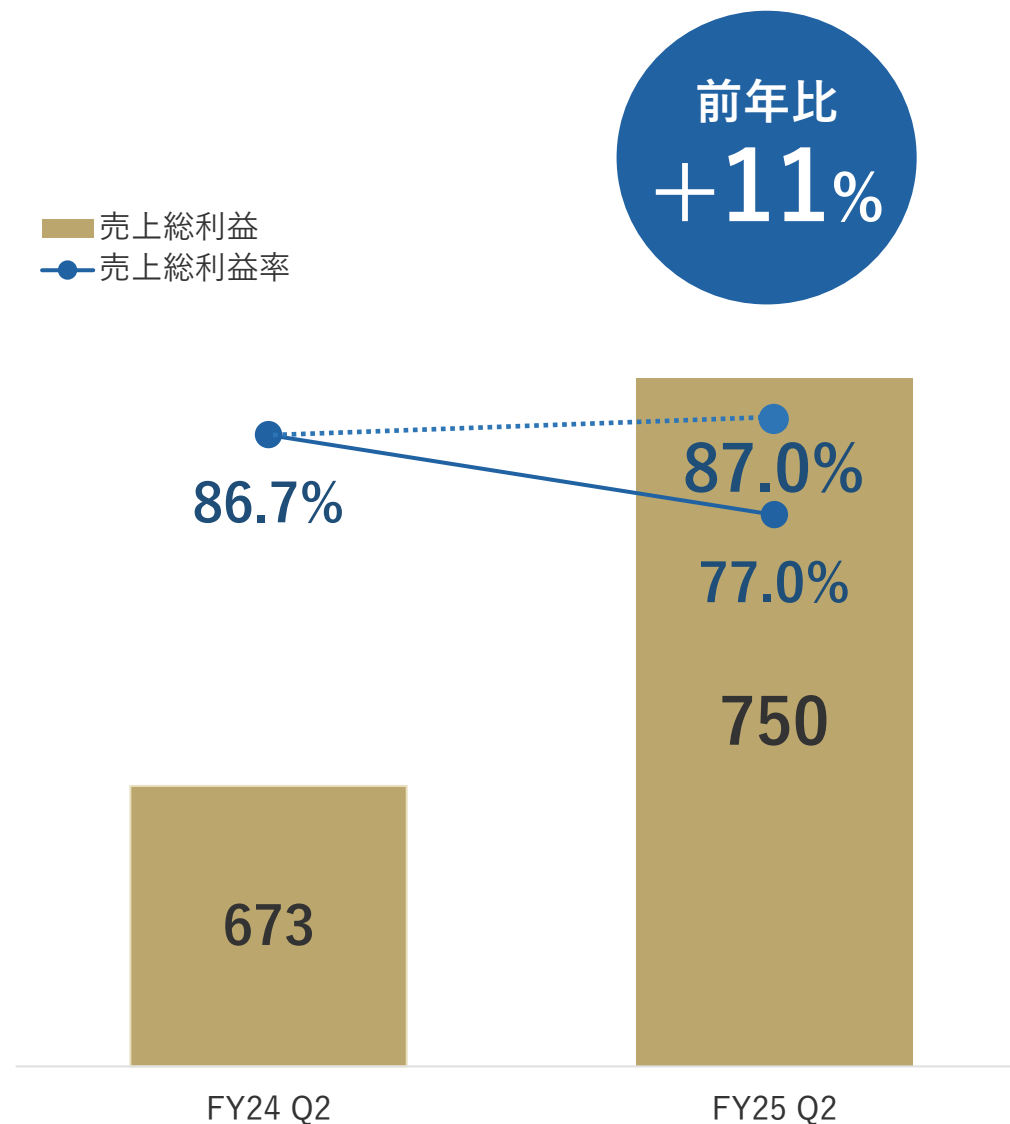


2025年11月期 第2四半期業績 売上総利益について

売上総利益は**750百万円**で、前期比**+11%**の増加。

地方自治体案件向けのデジタルIDウォレット案件の影響により、売上総利益率は低下も、**77.0%の水準**を確保。

同案件を除いた場合の売上総利益率は**87.0%**と前年同期比同水準を確保。



2025年11月期 第2四半期業績 販売費および一般管理費について

Q2の販売費および一般管理費の合計は**719百万円**

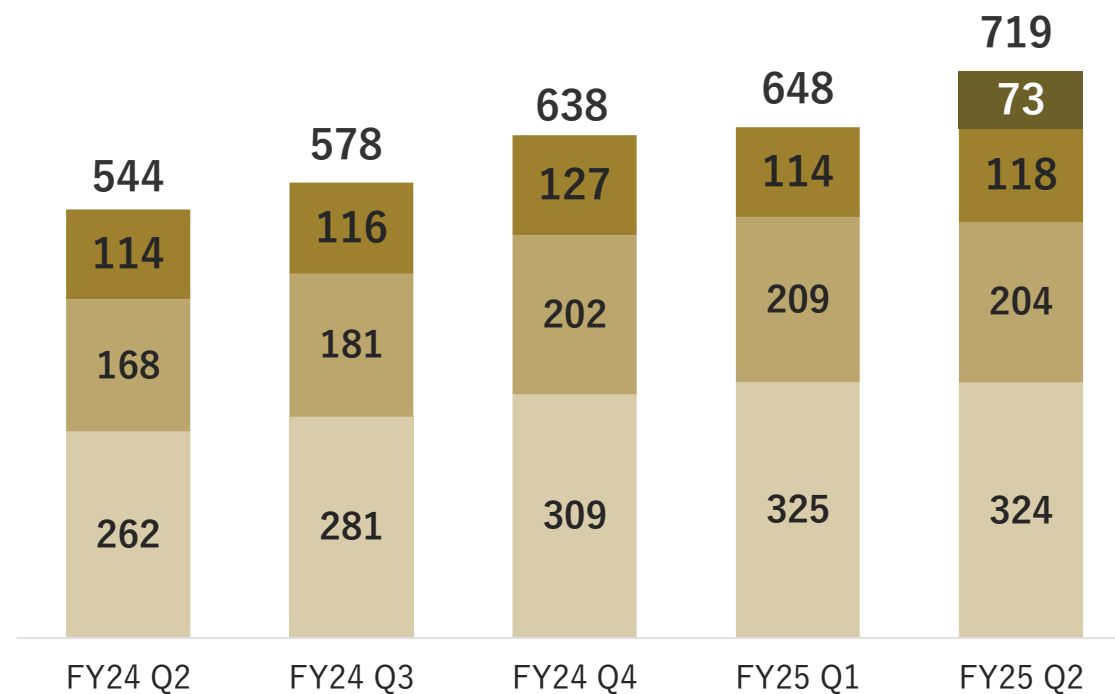
本四半期においては、**ポラリファイ関連費用73百万円の影響^(*)**により、販管費は前四半期比+70百万円の719百万円にて着地。

同影響を除いた場合の販売費及び一般管理費は646百万円で前四半期比でほぼ同水準で着地。

(百万円)

■ R&D ■ G&A ■ S&M ■ ポラリファイPMI関連費用

ポラリファイ
影響控除後
646百万円



(1) 下記で区分しております。監査法人による監査及びレビューを受けた数値ではありません。
 S&M= Sales and Marketingの略。販売促進に係る広告宣伝費、営業人員の人件費および関連する経費
 R&D = Research and Developmentの略。開発に係るエンジニアの人件費や関連する経費
 G&A= General and Administrativeの略。コーポレート部門の人件費や関連する経費

(*)PMI関連費用および決算期の相違に伴う一時費用計上額

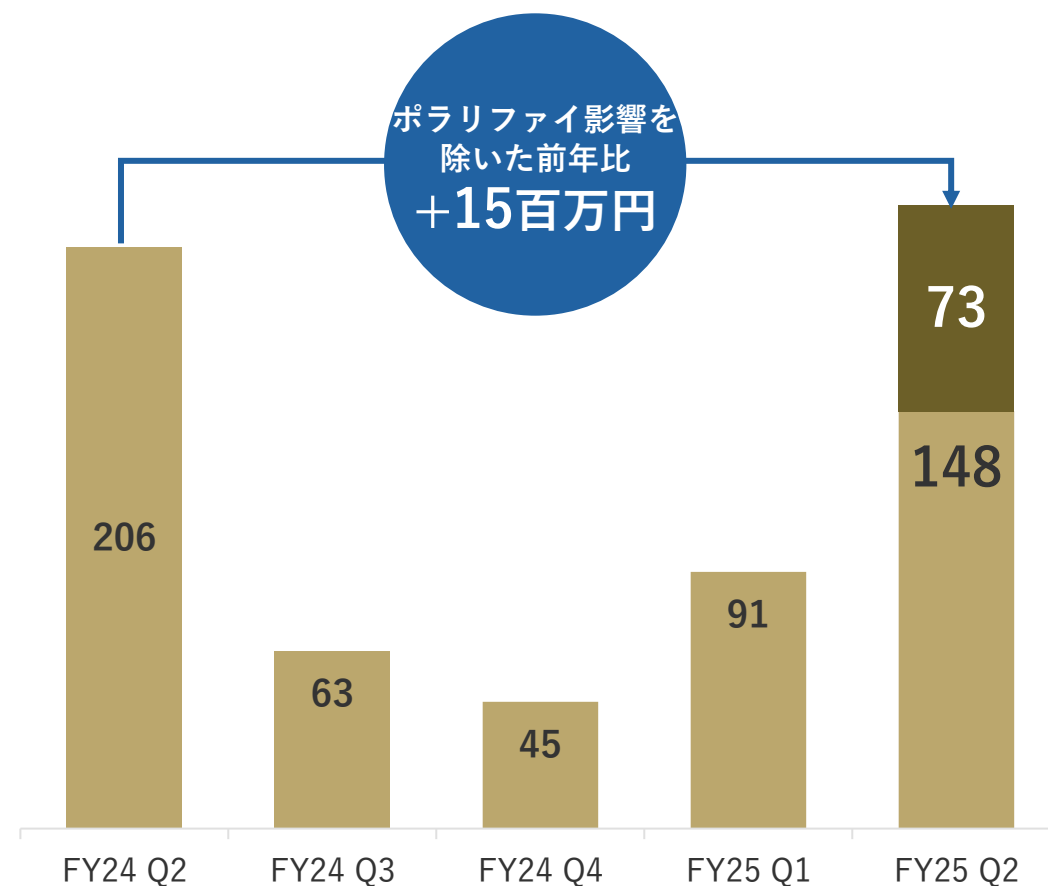
2025年11月期 第2四半期業績 EBITDAの推移

EBITDAは前年同期比▲58百万円の148百万円で着地。

ポラリファイ要因を除いた数値は前年同期比+15百万円の221百万円と前年同期比でも高水準。

(百万円)

■ EBITDA ■ ポラリファイPMI関連費用



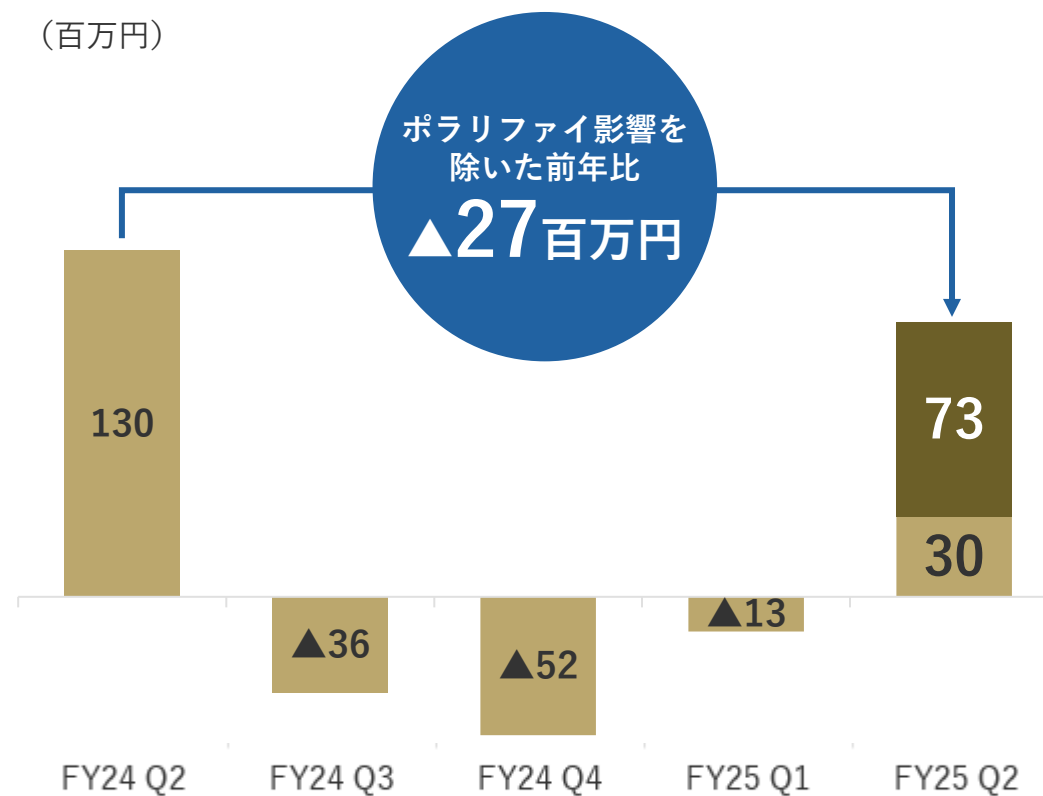
2025年11月期 第2四半期業績 営業利益の推移

営業利益は**30百万円**で前四半期比改善。

ポラリファイ要因を控除すると、**103百万円**の水
準を確保。

上期累計の営業利益は**17百万円**と、2 半期ぶりの
営業黒字を確保。

(百万円)



2025年11月期 第2四半期業績
連結貸借対照表

本四半期末よりポラリファイの貸借対照表を取込。
株主資本は17.0億円、純資産は21.6億円を確保。
自己資本比率は28.5%。

【主要な増減項目】

① 現預金/短期借入金

ポラリファイの株式取得および同資金のための借入実施、
ならびに同社連結開始による増減

② 無形固定資産

アドメディカのれんおよび顧客関連資産の減損をポラリ
ファイの株式買収によるのれんの増加がオフセットする
形で増加

③ 株主資本

親会社株主に帰属する当期純損益のマイナスにより減少

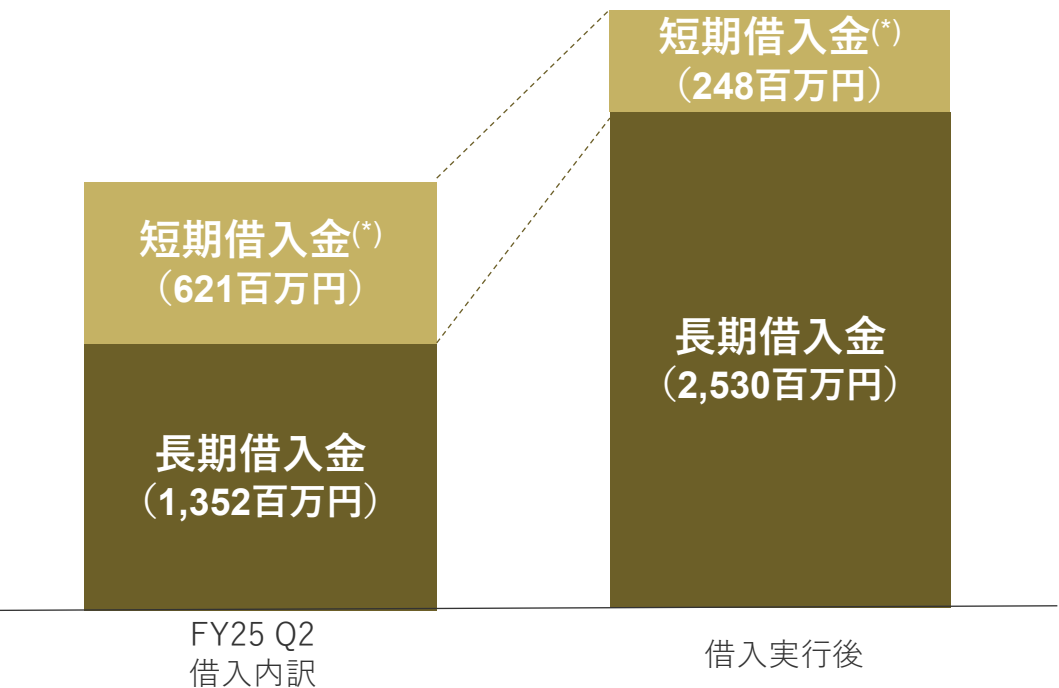
(百万円)		FY25 Q1	FY25 Q2
	流動資産	3,495	3,413
①	うち、現預金	2,939	2,057 ↓
	うち、売掛金	392	1,097
	固定資産	1,858	2,564
	有形固定資産	387	366
②	無形固定資産	1,259	1,986 ↑
	投資その他資産	211	210
	資産合計	5,354	5,977
	流動負債	970	2,330
①	うち、短期借入金 ^(*)	506	794 ↑
	固定負債	1,776	1,481
	うち、長期借入金	1,198	1,179
	負債合計	2,746	3,812
	純資産	2,607	2,164
	新株予約権	206	221
③	株主資本	2,068	1,706 ↓
	非支配株主持分	332	236
	負債・純資産合計	5,354	5,977

(*) 1年以内に返済期限が到来する長期借入金を含む

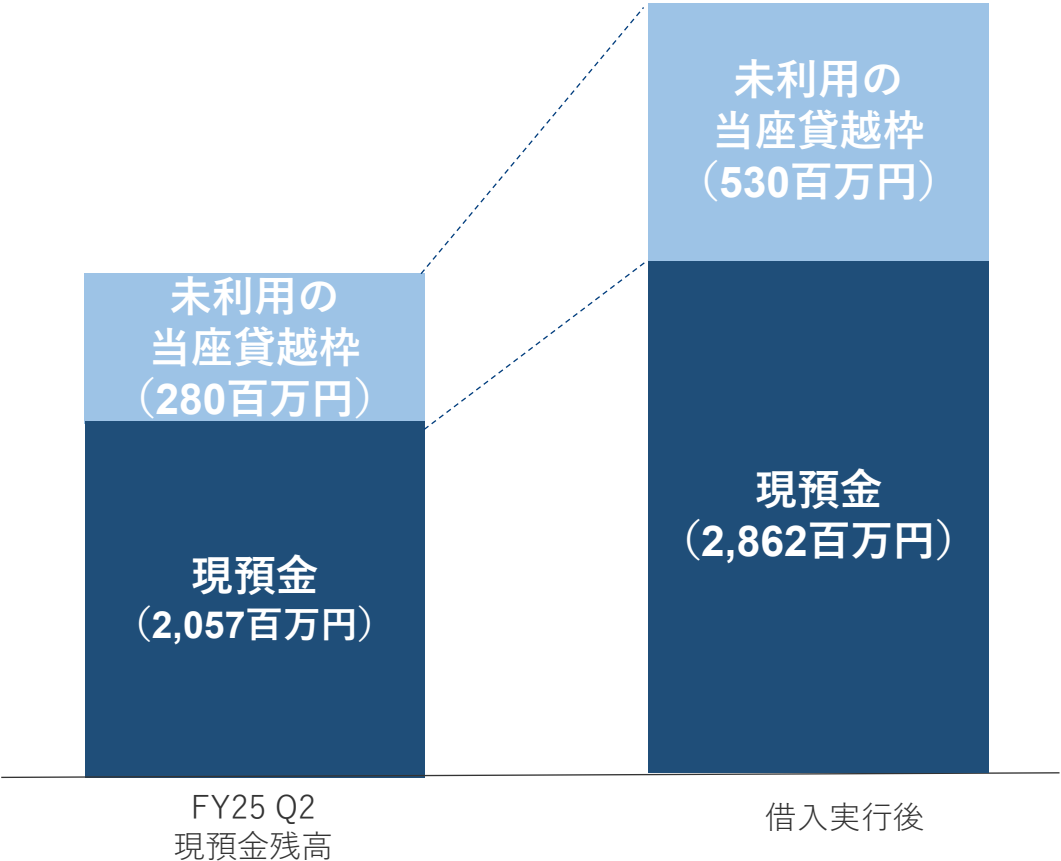
リファイナンス実施後の借入・手元流動性について

- 2025年7月にポラリファイ社買収資金の一部等として、**1,255百万円を金融機関3行から借入**。並行し、当座貸越の返済を実施。
- 当該リファイナンス実行後の手元流動性は約34億円を確保。

リファイナンス後の借入金の内訳



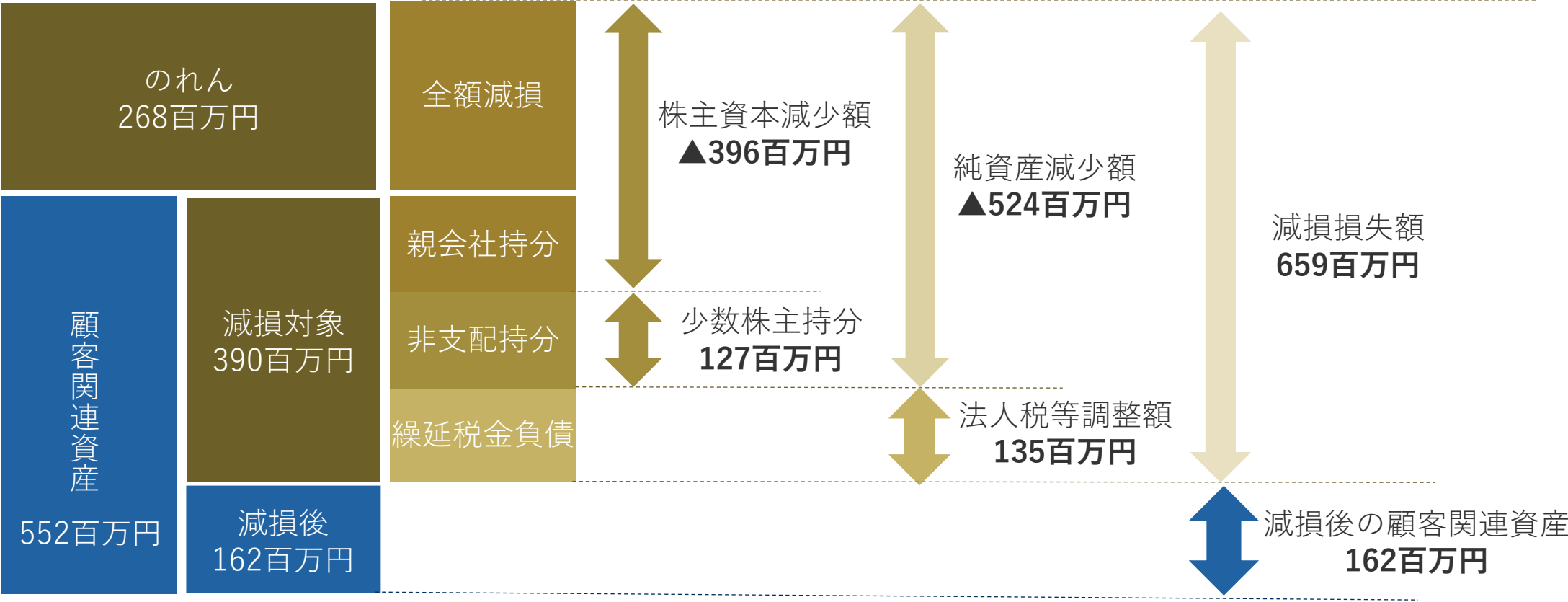
手元流動性



(*) 短期借入金には1年以内に返済期限が到来する長期借入金を含む

アドメディカの「のれん」および「顧客関連資産」の減損による影響

- アドメディカについて、当初見込んでいた将来収益の実現が困難であると判断し、2025年5月末で当社連結貸借対照表に計上されている「のれん」および「顧客関連資産」について、**合計659百万円の減損損失**を計上
- 繰延税金負債および少数株主持分を控除した、純資産および株主資本への影響額は、**▲524百万円、▲396百万円**。



(*)企業会計基準適用指針第6号 54項(3)に基づいた処理、数字は2025年5月末の数字（百万円以下、四捨五入の関係で一致せず）

目次

2025年11月期 2Q業績ハイライト

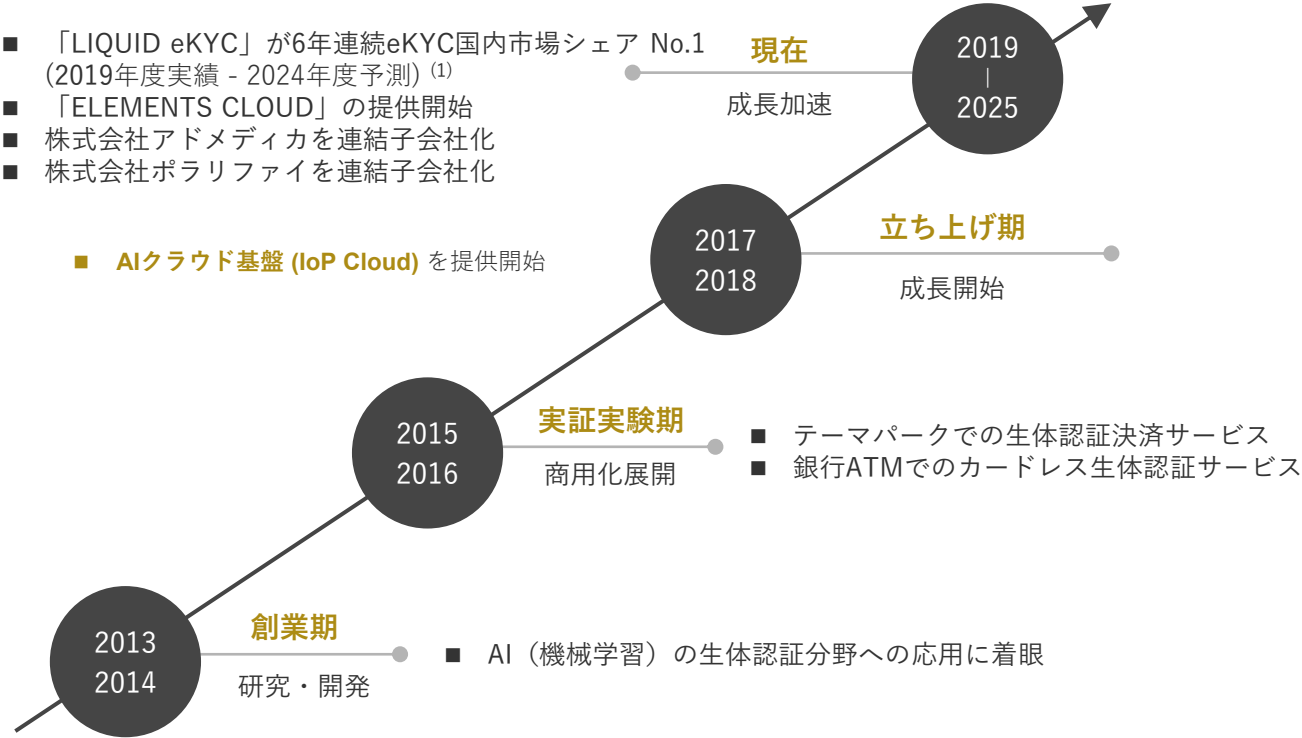
Appendix

会社概要とこれまでの歩み

会社概要

会社名	株式会社ELEMENTS ELEMENTS, Inc.	
設立	2013年12月	
代表取締役	代表取締役会長 久田 康弘 代表取締役社長 長谷川 敬起	
グループ会社	株式会社Liquid、X PLACE株式会社 株式会社アドメディカ、株式会社ポラリファイ 株式会社IDEAL、 PT. Indoliquid Technology Sukses	
従業員数	99名（2025年5月末、連結） ※正社員および有期雇用人員の合計	
事業内容	・生体認証・画像解析・機械学習技術を活用した 個人認証ソリューション、衣食住における個人最適化ソリューション、並びに個人情報を管理するクラウドサービスの開発・提供	
受賞・採択	・総務省 「ICTイノベーション創出チャレンジプログラム」 ・経済産業省・総務省 「IoT Lab Selection」第1回グランプリ ・独立行政法人中小企業基盤整備機構 「Japan Venture Awards 2018」JVA審査委員長賞 ・一般社団法人東京ニュービジネス協議会 「第17回 IPO大賞」 ・「日本スタートアップ大賞総務大臣賞」	

これまでの歩み



(1) ITR「ITR Market View：アイデンティティ・アクセス管理 / 個人認証型セキュリティ市場 2025」
eKYC市場：ベンダー別売上金額シェア（2019年度実績～2024年度予測）

本資料の取り扱いについて

- 本資料は、情報提供のみを目的として作成しています。
- 本資料は、日本、米国、その他の地域における有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これら将来の見通しに関する記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予測に関する記述には、既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。
- 上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内および国際的な経済状況の変化や、当社グループが事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限られるものではありません。
- また、当社グループ以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社グループはそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証していません。

Mission

BEYOND SCIENCE FICTION